

## 平成 20 年度少年少女体験学習塾を開催



### 【1日目～3日目の様子】

中日本生涯学習センターでは、平成 20 年 8 月 1 日(金)～10 日(日)の 9 泊 10 日間で、「少年少女体験学習塾」を開催しています。

平成 13 年から実施している少年少女体験学習塾は小学校 4 年生から中学 2 年生を対象にした体験学習を主体としたキャンプで、今年は近県の愛知県、岐阜県を中心に、東京都、千葉県、新潟県、福井県、岡山県、広島県から 17 名が参加しました。

平成 13 年から実施しているこの体験学習塾は、少年少女たちが 10 日間、親元を離れ、自然豊かな環境の中で、寝食を共にし、多彩なプログラムを体験することで、自主的・主体的に生きる力をはぐくむとともに、社会生活をしていくうえで必要不可欠な協調性を培うことを目的としています。

プログラムには、体験学習塾という名のとおり、薪割り、火起こしから行う野外炊飯、自分たちで組み立てるテントでの生活をベースに、乗馬体験、マスつかみ体験、ドッチボールといった遊びの中で学ぶ企画や、工場見学などの社会見学体験、さらには座禅の体験学習など静かに心を見つめる機会も設けています。毎回、たいへん好評で、今年は 8 回目の開催となります。



## 平成 20 年度少年少女体験学習



### 【4日目～6日目の様子】

少年少女体験学習塾も早くも中盤に差し掛かりました。

4日目は、中日本生涯学習センターのある山と緑に囲まれた稲津町の自然を満喫するプログラムです。地元で取れた竹を使ったコップ作りやマス釣り大会などを楽しみました。

5日目には、今回のプログラムの目玉の一つ、「夏のエプロン」が開催しました。決められた予算内で自分達で献立を考えて、買い物、調理までを行うという企画です。

6日目は、センターを飛び出しての社会見学です。でんきの科学館、トヨタ会館、トヨタ自動車工場と、見学ツアーを思う存分楽しみ、いろいろなことを学びました。

そろそろ疲れも出てきたのでしょうか。それとも慣れたのでしょうか。毎晩のテント宿泊では就寝時間になると話し声一つ聞こえなくなるほどぐっすり休んでいます。







## 平成 20 年度少年少女体験学習



### 【7日目～10日目の様子】

長かった少年少女体験学習塾もとうとう終盤です。

7日目は、中日本センターを離れモンゴル村でのゲル(モンゴル式の住居)でのお泊り体験です。道中、座禅、動物とのふれあいなどを体験しました。8日目は、川遊び、ダム見学と水尽くしのプログラム、また、夜は、ずーっと楽しみにしていた瑞浪市美濃源氏祭りの見物です。ずらりと立ち並ぶ屋台を前に、何を買おうか、食べようかと迷ってしまいます。9日目は、慣れ親しんだセンター全体を使っての大かくれんぼ大会。隠れているスタッフのお兄さん、お姉さんは見つけれられたかな？もちろん最後の野外炊飯でも大奮闘、夜はキャンプファイヤーで盛り上がりました。

いよいよ 10 日目です。10 日間の総決算の感想発表。「家に帰れるのは嬉しいけど、もうちょっとここに居たい」そんな声が聞かれました。そして帰り際、お迎えに見えた保護者の方に、自分のすり傷、切り傷を見せながら誇らしげに笑う子供たちの顔が印象的でした。

小さな怪我やケンカなどもありましたが、帰る時はみんな笑顔、笑顔で、無事に 10 日間の全日程を終了する事が出来ました。

